

平成23年度第1回北海道ブロック協議会
第1回北海道代協理事会
議 事 録

平成23年4月22日(金)13:00~17:00

於：センチュリーロイヤルホテル

出席者

本部常任理事	高梨 重勝	函館	理事	見上 峰夫	札幌	理事	山吉 行雄	釧路
会長	山口 史朗	札幌	理事	梅基 伸男	札幌	理事	吉田 和彦	釧路
副会長	長尾 忠正	釧路	理事	廣瀬 禎	室蘭	理事	大高 喜弘	釧路
副会長	羽山 和広	帯広	理事	寺田 賢	旭川	理事	酒井 惇	帯広
副会長	小谷田正彦	旭川	理事	坂本 信一	旭川	理事	山田 和樹	帯広
副会長	松浦 則雄	函館	理事	山本 仁	旭川	監事	本村 宏文	千歳
専務理事	赤山 登	札幌	理事	古宇田 渉	苫小牧	監事	島崎 広隆	札幌
常務理事	富谷 則文	札幌	理事	多和 康司	千歳	監事	木下 裕章	小樽
理事	佐々木雅之	札幌	理事	小野 修	函館	教育委員長	富田 明久	苫小牧
理事	町野 泰明	札幌	理事	大橋 敏	函館	事務局	藤田 和代	

司会 専務理事 赤山 登

1. 開会の辞(羽山和広)

2. 北海道代協会長挨拶(山口史朗)

- 1、東日本大震災お見舞いを述べる。(北海道でも釧路支部2会員が被災し、対応は後ほどの報告事項で説明)
- 2、会長就任2年目に入り、より会員満足度の高い組織運営を目指し、<行動する北海道代協>を定着させたい。

3. 日本代協常任理事挨拶(高梨重勝)

- 1、東日本大震災被災者に対し、全員にて黙祷。
- 2、今回の震災にては担当地区である東北に過去まれにみる甚大な被害が発生しており、会員およびその家族の被災報告、過酷な避難状況も確認している。
- 3、2月実施の正会員増店キャンペーンへの御礼を述べる。増店については十分な成果が見られたが、年金では残念な結果となった。

4. 倫理綱領の朗読(佐々木雅之)

5. 議長選出

議長には副会長(小谷田正彦)が指名され、承認を得た。

6. 議事録署名人の選出

議事録作成者：富谷則文常務理事(札幌)、議事録署名人に佐々木雅之(札幌)、見上峰夫(札幌)各氏が指名され了承を得た。



7. 議 事

[I] 報告事項

(1) 日本代協常任理事会報告(高梨重勝)

- 1、荻野会長が退任し岡部副会長が新会長へ就任した他、新常任理事も決定する。
- 2、その他は次項の臨時総会報告にて山口会長よりしていただく。

(2) 日本代協臨時総会報告(山口史朗) *上記報告と重複部分は省略

- 1、資格制度統一化についての損保協会よりの3月17日予定であった正式決定プレスリリースは震災発生により中止となったが、第14期までの認定保険代理士取得者は最高位資格へ自動移行される。
- 2、今年度より11月18・19日にコンベンション開催を予定している。北海道代協としても1名でも多くの会員に参加していただきたい。各支部にて、参加希望者については旅費一部援助等の措置もご配慮いただければ幸い。
- 3、臨時総会でのその他詳細はホームページ上の総会議事録にて閲覧できるので、ご一読願いたい。

(3) 日本代協委員会報告

(I) 組織委員会(長尾担当副会長が伊藤委員メッセージを代読)

2月増店キャンペーン(単月にて22店増)のがんばりもあり、年度末にて目標516店にはとどかなかったものの509店と善戦をした。各会員の努力に感謝いたします。

(II) CSR委員会(山本仁)

前回理事会以降委員会は未開催なので、特に報告事項はなし。

(III) 教育委員会(富田明久) 別添付資料あり

特記事項のみ一保険大学校13期3回目の参加講習は鑑定人講師予定であったが、震災発生により講師多忙のため来年に延期。

(IV) 企画環境委員会(吉田和彦)

アリアンツ社代理店賠償における補償範囲の拡大があり。

(4) 東日本大震災義援金について（山口史朗）

- ・高梨常任理事より東北各県の被災詳細の報告がされる。（岩手にて会員1名の死亡が確認される）
- ・本部にて義援金1億円を目標とし、配分先は現在検討中。
- ・北海道代協義援金状況（4月20日現在）－104件 1,080,577円
- ・釧路支部被災2会員については、長尾副会長・山吉支部長よりお見舞い金3万円をそれぞれ訪問手渡し済み。（両会員とも事務所が津波による床上浸水を被り、復旧に1、2週間程度がかかった。写真が回覧される。）

[II] 審議事項

(1) 平成22年度事業報告

資料P9～P37に掲載。以下、特記事項のみ記載。

○日本代協・北海道ブロック（赤山登）

無保険車追放キャンペーンは、北海道にては春の時期に移行されているので各支部準備実行のほどよろしくお願ひしたい。

○各支部報告（各支部長）

<札幌> ボーリング大会、地区ランチミーティングの新しい試み実施が会員増強へ繋がっている。

<室蘭> 懇親釣り大会を初めて実施。

<旭川> 道東北見地区への取組みが弱かったため、今年度は実行する。

<苫小牧> 支部セミナー：がん保険を考えるは取扱い各社参加のもと非会員代理店も集まり、盛況であった。

<函館> 2月に函館損保会との新年交礼会実施。

<釧路> 10月清掃ボランティア・親睦バーベキュー実施。11月北海道新聞広告掲載。

<帯広> 30周年記念行事以降セミナーに力を入れている。

○各委員会報告（各委員長）

<苦情処理委員会> 代理店賠償加入状況がまだまだ全国平均に達していない。

山口会長より帯広支部へ質問—セミナー毎月開催の意図するところはなんですか？

返答—若手会員中心に非会員のみならず、一般市民にも代協を認知してもらいたいとの趣旨より開催しております。

*議長採択をとり承認可決

(2) 平成22年度決算報告及び監査報告（富谷則文・本村宏文）

添付資料P 38～40の収支決算書・貸借対照表・財産目録により説明。

以下、特記事項のみ記載。

- ・収入（会員会費）－490店での予算組に対し12末475店のため、28万円のショート
- ・収入（割増会費）－DRP・マツダレンタ他の助成金が多かったため約20円プラス
- ・支出（旅費交通費）－帯広支部記念行事に伴い、第4回理事会を帯広にて実施したため、札幌よりの出席者の交通費・宿泊費が増え約37万円の増
- ・支出（雑損失）－事務所エアコン取付撤去費用

本村監事が諸帳簿、各証票監査の結果、収支決算書、貸借対照表が適正であることを代表にて報告する。

＊議長採択をとり**承認可決**

(3) 平成23年度事業計画（案）（山口史朗）

別添付資料による。

今回、基本方針1－北海道代協のあるべきかたちの検討をする のなかで、・連結決算、支部会費 ・総会、会議、イベント運営の手法・定款、規定の整備 ・理事、役員を選出方法の検討 などを主な議題とし、会長、副会長、専務理事、常務理事、支部長をメンバーとした諮問機関を設置して具体化のための会議を行い、理事会へ答申することの提案が山口会長よりされた。

基本方針2－会員の資質の向上を図る

基本方針3－業界の健全な発展のための構想と具体化

基本方針4－会員増強の仕組みづくりの検討

基本方針5－ボランティア活動の本格化

基本方針および各委員会の事業計画(案)詳細は別添付資料を参照

＊議長採択をとり**承認可決**

(4) 平成23年度予算（案）（富谷則文）

添付資料P41の予算額表により説明。以下、特記事項のみ記載。

- ・収入（会員会費）－正会員500店、一般会員6名にて予算組
- ・収入（割増会費）－各事業提携先への紹介促進により対前年30万円アップで予算組

＊議長採択をとり**承認可決**

(5) 政治連盟会費の件（山口史朗）

山口会長より政連会費の北海道の現状を報告－昨年度より個人の浄財により支出を求めたが、日代協予算494,000円に対し172,000円（未納322,000円）と大幅に未達となっている。本年度は昨年度未達額とあわせ774,000円の要請がきているが、このままでは未納が増えるばかりで、他府県代協にしわ寄せがいつている状況。前回の理事会にて京都集金方式の紹介・提案をしたが、今年度の支部会費集金に間に合う様引き続き審議いただきたい。47都道府県中32代協が京都方式を採用しているのもある。

＊なぜ、政治連盟が必要なのかの説明資料として<政治連盟Q&A>と京都方式による

会員向け文書が配布された。

議長が各支部へ意見を聞く。

札幌—総会時にでも、推薦議員本人が来て説明でもしてくれば各会員の実感が湧くのではないかと。会員に対する政連の必要性がPR不足。

室蘭—会費を2,000円下げてもしないと、今現在は納得されないとと思われる。

苫小牧—同上

旭川—反対未加入者の数が支部ごとで格差ができてしまうのではないかと。

千歳—会員への納得を得るだけの説明資料が必要。

函館—前回の理事会後会員へ説明はしたものの、よい反応は得られず、退会に繋がる可能性も大である。

釧路—函館と同様。1会員1,000円での加入ではだめなのか。

帯広—まだ、各会員が政連の必要性を認知していない状況。

小樽—ディーラー会員・整備工場会員がいる中、即時の京都方式採用は困難。

赤山専務理事および梅基理事が上記支部意見に対する返答や採用推進の説得がされたが、即時の採用には各支部納得せず。山口会長が今年度の集金時採用は無理と判断し、各支部へ持ち帰り再度十分未納額の件等を含め話し合いを持ちできるだけ早期の採用に向け準備願いたいと議長へ採択提案する。

*議長より条件付継続事案での採択により**継続審議**

(6) その他

◎委員会名称変更の件（吉田和彦）

日本代協に合わせ、以下の二つの委員会の名称変更を提案。

苦情処理委員会→企画環境委員会

企画広報委員会→広報委員会

*議長採択をとり**承認可決**

◎苦情処理委員会へ圧力募集の疑いをもたれる案件2件の報告があったため、該当支部より状況を発表。

・千歳—北交ハイヤー従業員に対して、本年4月1日付社内文書でマイカー通勤車両の任意保険を自社代理店へ付保強要推進と取られかねない状況が発生。（切替がない場合、駐車場の賃貸を断られた従業員がいるとのこと）

・室蘭—住公火災満期継続の案内、推進がプロ代理店より直接顧客へあったもの。吉田苦情処理委員長より該当の各保険会社の北海道責任者へ対する詳細説明報告を求める文書を北海道代協会長名にて出すことを提案。

*議長採択をとり**承認可決**

8. 閉会の辞(長尾忠正)

*事業提携先パソナより提携内容他につき訪問説明が実施された。

議事録作成者 富 谷 則 文

議事録署名人 佐々木 雅 之

議事録署名人 見 上 峰 夫